



刈り取った稲を束ねる児童

実りへの感謝 米づくり体験

倉田小では毎年5、6年生が米づくりを体験している。2022年5月30日には、地域ボランティアの横山隆男さんの指導のもと、田植えを行った。みんなで声をかけ合いながら協力して苗を植え、大きく成長するよう願った。

そして、9月16日、稲刈りを迎えた。春に植えた小さな苗は大きく育ち、たくさんの穂をつけていた。たく育った稲の株を鎌で刈り、束ねるのはとても大変だったが、協力して収穫を行い、豊作を喜んだ。

収穫した米に「倉田米」と名づけ、学習発表参観日の後、保護者の方や地域の方に日頃の感謝の気持ちを込めてプレゼントをした。家でお米を食べた5年生は「もっちりとしておいしかった」「つやつやと輝いていた」と感想を述べていた。

これからも、「米づくり」の学習を大切にしていきたいと思っている。横山さんのように素晴らしい方がおられる「ふるさと倉田」を誇りにし、これからも大切にしていきたい。

ルール守って楽しく学習



さまざまな活動に活用しているタブレット

タブレットを活用して レポートや動画を作成

倉田小では、タブレット 入力できる人も多い。の活用を積極的にしている。授業では、自分の考えを文章にしてレポートを書いたり、写真やグラフなどを取り入れながらプレゼンテーション資料を作成したりしている。また、スプレッドシートを使って表にまとめるなど、当たり前のように使っている。家庭学習でも、タブレットドリルや自主学習を行っている。

また、委員会活動では、ポスターや活動を紹介する動画の作成など、タブレットを使っていろいろな活動をしている。

今年2年間タブレットを使った6年生は「タブレットを使うと自分の考えをまとめる」「みんなと共有して使えるので、グループ学習に役立つ」と感じている。

ルールを守りながら、これからのタブレットを学習に活用していきたい。

倉田小新聞

学校概要



【学校名】鳥取市立倉田小学校
【所在地】鳥取市八坂54番地1
【校長名】但住文章
【児童数】105人
【校訓】勉学 根気 親切
【教育目標】
「心豊かな子どもを愛したましまし」

しなやかに 未来を拓くKURADAの子の育成
「こころ」でつながる学校づくり
「こころ」でつながる授業づくりを通して
【目指す学校の姿】
「チームKURADA 心を一つに 笑顔と活力にあふれる学校」



保ち続ける千代川の自然

水生生物による水質調査



川にすむ生物を調査する児童

倉田小は、毎年5年生が千代川の「水生生物による水質の簡易調査」を行っている。2022年は、7月1日に千代川にかかる「源太橋」の下で調査を行った。この調査は、「その川にすむ生物の水のきれいさを判断する」というものである。国土交通省のもと、1984(昭和59)年から続いており、39年という長い歴史がある。

5年生は、オレンジ色のライフジャケットを身につけて、たぐさんの石をひっくり返しながら調査を行った。石の下には、川がきれいだということを示すカゲロウの幼虫やカワゲラなどの生物が見つかった。水質の悪い川にすむ生物は一匹もいなかった。この調査で千代川がとてきれいだということが分かった。5年生は「ゴミが落ちていたら拾いたい」「このきれいな川を守っていききたい」などと感じていた。

倉田小では委員会活動に力を入れており、アイデアあふれるオリジナルの活動がたくさんある。

今年度は、運営委員会の「七夕ロード」や「時間を大切にしようキャンペーン」、図書委員会の「読書まつり」など、さまざまなイベントを行ってきた。

その中で一番印象に残ったイベントは、1月31日の健康委員会が企画した大縄大会だ。大縄大会では、各クラスのアイデアを出して、8の字跳びに挑戦。みんなが楽しかった。どの学年も跳ぶ順番を思いやる学校にしていきたい。

倉田小では毎年、冬休み明けに書き初め大会を開催している。今年度は1月13日に行われた。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のために低学年、又感染症対策のために低学年、に書き初め大会を開催している。今年度は1月13日に行われた。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のために低学年、又感染症対策のために低学年、に書き初め大会を開催している。

倉田の伝統を いつまでも

書き初め大会



集中して書き初めする児童

倉田小では毎年、冬休み明けに書き初め大会を開催している。今年度は1月13日に行われた。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のために低学年、又感染症対策のために低学年、に書き初め大会を開催している。

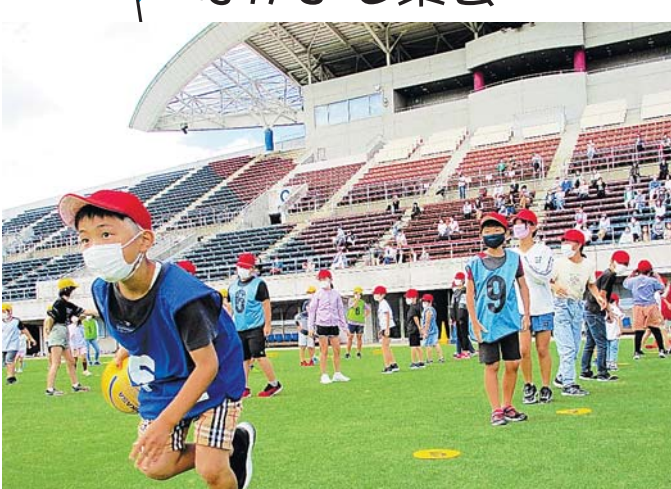
倉田小では毎年、冬休み明けに書き初め大会を開催している。今年度は1月13日に行われた。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のために低学年、又感染症対策のために低学年、に書き初め大会を開催している。

5、6年生が作った新聞です



新記録で盛り上がった大縄大会

全校の絆 深める なかよし集会



なかよし集会を楽しむ児童

倉田小は、2022年7月に4年生と2年生、9月に5年生と3年生、12月に6年生と1年生が企画した「なかよし集会」を行い、全校の絆を深めた。

なかよし集会は、上学年と下学年が協力して準備や運営を行っている。1、2、3年生も、司会や代表のあいさつなどを担当する倉田小だけの特別な取り組みだ。

9月21日に行われた5年生と3年生が企画した集会では、倉田地区の宝である

心が一つになった合奏



すてきな音色を響かせた合奏

倉田小の体育館で2022年11月10日、音楽ワークショップが行われた。講師は上萬雅洋先生だった。下学年は「となりのトトロ」、上学年は「君をのせて」の曲を合奏した。この日に向けて、下学年も上学年も一生懸命に練習をしていたが、みんなでそろって演奏するのは初めてだった。

最初はなかなか音がそろわず、「うまく合奏ができてきた」と感じられた。しかし、上萬先生に教えていただくと、きれいな音色がたくさん出るようになった。ピアノ、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、アコーディオン、鉄琴、木琴、小太鼓など音が重なっていくのが分かった。

最後の合奏では、練習した成果が発揮でき、すてきな音色が体育館いっぱい響いていた。教えてくださった上萬先生は

「みんなの心が一つになりすばらしい合奏になった」と話しておられた。今回の体験を通して、音楽のすばらしさや協力することの大切さを学んだ。これからもみんなで協力して生活していきたい。